



深谷中だより



NO. 242

令和8年7月16日

横浜市立深谷中学校

校長 宮内 浩一

「挑戦の夏、そして安心・安全な夏に」

早いもので新年度を迎えてから3か月半が過ぎ、いよいよ夏休みとなります。生徒の皆さんは、この夏をどのように過ごそうと考えているでしょうか。

夏休みは、学校生活ではなかなかできないことにじっくり取り組むことができる貴重な機会です。ぜひ、この機会に何か新しいことや普段は時間がなくて挑戦できなかったことに取り組んでほしいと思います。

読書に挑戦するのもよいでしょう。物語の世界に触れることで、新しい考え方や価値観に出会うことができます。苦手な教科の復習や得意な分野の探究を進めることも、自分自身の成長につながります。また、家の手伝いや地域の活動への参加、部活動での技術向上なども大切な経験となるはずです。

特別なことをする必要はありません。「毎日30分読書をする」「早起きを続ける」「家族と過ごす時間を増やす」など、小さな目標でも構いません。大切なのは、自分で目標を決め、継続することです。その積み重ねが自信となり、夏休み明けからの学校生活にも生かされることでしょう。

また、夏休みは普段よりも自由になる時間が増えるため、人との関わり方や時間の使い方を自分で考える場面も多くなります。その中で特に気を付けてほしいのが、スマートフォンやSNSの利用です。

SNSは便利な情報交換の手段ですが、発信した内容は簡単には消えず、多くの人の目に触れる可能性があります。軽い気持ちで投稿した言葉や写真が、誰かを傷つけたり、自分自身のトラブルにつながったりすることもあります。画面の向こうには相手がいることを忘れず、「投稿する前に一度考える」ことを心掛けてほしいと思います。困ったことや不安なことがあれば、一人で抱え込まず、家族や学校の先生など信頼できる大人に相談してください。

この夏休みが、生徒のみなさん一人一人にとって新たな挑戦と成長の機会となり、心身ともに充実した日々になることを願っています。

深谷中学校 人権標語

『人「を」笑うよりも、人「と」笑おうよ』

